



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 22 年 11 月 21(日)
常盤の朝市, 感謝祭 編

「和」の日曜朝市でした。

今年の 6 月 27 日に第 1 回目を開店。午前 9 時半頃に行ってみると、既に多くの方が列をなしていました。今日は何の祭りかな？と思い近づいてみたら、私たちを待っている人、人でした。びっくりして開店準備にとりかかりました。ほっとステーションいっぱいのお客さんでした。やあ、皆さん、しばらくでした。

それから毎週日曜日の午前 10 時から 11 時半まで、11 月 21 日まで開店させていただきました。上町すみれ会、お客様、マスコミの皆さんに厚くお礼を申し上げます。

お客様にお買い上げいただいた品物は、ほうれん草、柿、菊花、切り餅、カブ、トマト、キャベツ、チンゲン菜、カリフラワー、水菜、白菜、ブロッコリー、インゲン、大根、ナス、ソラマメ、オクラ、カボチャ、枝豆、キュウリ、ニンジン、ピーマン、にんにく、玉葱、ネギ、むぎ巻き、干し餅、小豆、ミズ、トウキビ、ワラビ、サツマイモ、ゼンマイ、なめこ、ゴボウ、もち米、あきたこまち、ダマコモチ、漬物、ジャガイモ、自然薯。

その他にも、こんな交流もしました。

①常盤中学生による椎茸販売：学校林を利用して中学生が栽培した椎茸を乾燥し「ときわ茸」として一袋 180 円で販売。30 分で完売しました。収益金は来年の経費として使用する！と生徒たちは張り切っていました。

②老人クラブ：自然の材料「スゲ」でしめ縄作りを店頭で行いながら、販売しました。昔の達人にしばらくぶりに対面することができました。

③県立大生による花の交流：自分たちが栽培した花に、学生と先生が技術を加えて販売。これも完売しました。

④常盤の美しさを写真展で紹介しました。風景や祭り、草花など朝市ごとに展示を換えましたので、皆さんにも喜んでもらえたかな？と思っています。特に「常盤の里マップ」を展示することで、地域を紹介することができました。

ここで一句。

野菜切れ となりのアッコも 売っていた
春動く バツケのにおい 雪のなか

来季もよろしくお願い申し上げます。

文： 小林 甚一



最終日とあって、いつも以上に多くのお客さんがありました。



常盤の魅力満載の売り場にお客さんばかりか売る人もとても楽しそうです。



絶品、常盤のたまこのおもてなしもありました。



来年もお待ちしていますので、また一緒に頑張りましょう～。